

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

中国残留邦人等支援事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【事業の内容】

(1) 中国残留邦人等支援事業

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対して、生活支援給付金を支給する。(平成20年度は支給対象者なし。)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10

主な支出内訳

- ・中国残留邦人等支援事業
生活支援給付金

0

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-14 中国残留邦人等支援事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1375 中国残留邦人等支援事業					
主管課	生活福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対して、生活支援給付金等を支給し、中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	0千円			*平成20年度新規事業		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	0千円					
	人員配置数	0.0人					
	人件費	0千円					
協働の パートナー	無	無	無				
事務事業 運営経費	総事業費	0千円					
	市民1人当 りの経費	0円					
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 特になし。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 特になし。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 特になし。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	本市において支援対象者は居住していないが、支援対象者が生じた際には、適切な支援を行っていく。				
担当課長氏名:		生活福祉課長 曾根 健治			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	支援対象者が生じた際には、適切な支援を行っていく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		